がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３１１号
令和２年１１月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末崎町の石碑・祠・神社(39)

経塚について　～　その2

(3)　説明

②　末崎村誌Ｐ 103 には次のように載っている

経塚の碑　（表面）

経塚は熊野神社の後方に在り四面石垣を疊み尚ほ石垣の塀を繞らし塚の上に覆屋あり中に左の碑文を立つ。

経塚の縁起存人の口碑也久矣而土人或過其焄嵩悽愴之地日情然耳迨村上氏新設闌而艚戸七名戮力表之名遂至使人跼蹐畏敬所謂善與人同之意也。（この碑文は私には読めないので、どなたか解読していただきたい）

安政丙辰八月（1856 年）法雲院四十世現住　祐慶　識

（裏面）　願主　半兵衛　魚赤　船七艘　玉ガキ　八百藏

③　熊野神社の四十世を調べたところ、四十代は教師試補　源祐慶（大船渡市史五巻Ｐ 128）とある。

この経塚には志田栄治宮司の時代まで建物あったと言われている。また、昭和の初めまでは、経塚の上をたたくとコンコンと音がして下が空洞になっているような気配が感じられた、という話が伝わっている。

④　碁石の大和田哲夫さんの話。（「昔さがし」懇談会での話）

経塚のある山を上坊山（わんぼうやま）、あるいは坊山（ぼうやま）と呼んでいた。

この上坊山には、荒ぶる神様いて、近くを馬が通ると暴れだし、山内でお産をすると、難産となるので、お産はよそにいって生んだ。それで経塚を建てて供養したらそれが治まったという話を聞いている。

この話を聞いた地元の数人の方からも、その話は聞いたことがある。あるいは我が家でもよそに行ってお産をした、という話がでた。（紀）

中森　熊野神社　裏山の杉林の中に経塚がある

コロナウイルス感染予防

県は11月12日、13日、二日続けて新型コロナウイルス感染症のクラスター（感染者集団）が発生したと発表。盛岡の飲食店からだという。報道されたお店で会食したわけではないというが大船渡市在住の大船渡病院職員（20代男性）からもウイルスが検出された。気仙で初めての感染症の発生だ。

このところ北海道、東京を中心とした関東地方、大阪等におけて新型コロナウイルスの感染が急激に拡大しているだけでなく地方にも広がっておりに「第3波」の到来が鮮明になっていた。

11月11日、専門家から「今、新規陽性者数と接触歴等不明者数は大幅に増加している。これを我々は急速な感染拡大の深刻な状況を警戒する必要がある」と強い警戒感が示されたが、まさか岩手からクラスターが二日も続けて出るとは思わなかった。かねてから、冬にかけて感染者が増加すると予想されていた。秋から冬は空気が乾燥し飛沫が浮遊し拡散する。また、寒くなれば室内は密閉され（換気は行われにくく）ウイルスが滞留するので一層感染しやすくなるからだ。それが現実となった。

11月19日は、1日の感染者数が全国で過去最多の2385人となった。東京も初めて500人を超える534人となった。

18日、日本医師会の中川会長は、日ごとに感染が拡大しているとから「コロナに慣れないでください。コロナを甘くみないでください」と気のゆるみに対する注意を呼びかけた。

心配されるのは、医療崩壊だ。急激に増加することによって、病床がひっ迫する。医師をはじめとする医療従事者が足りなくなる。そのことによって他の病気の重篤な患者の受け入れや治療ができなくなる。それゆえ何としても新型コロナウイルスの感染を阻止しなければならない。

政府が疲弊する経済を立て直そうとして企画したGo To トラベルやGo To イートだったが見直しの声も上がっている。もともと「コロナウイルスの感染を抑え込む」のと「人の往来を活発にして活気を取り戻すこと」は相反するもので両立させることは容易ではない。

感染拡大阻止策は人命に重きを置く考えであり、経済より優先されるべきものであることは言うまでもない。

毎日、テレビや新聞で新型コロナウイルス感染症について報道されるので、私たちはそれなりの知識を持つようになった。それだけにどのようにすれば感染予防ができるか、わかっている。問題は予防法を如何に意識して一人ひとりが実行するかだ。感染拡大阻止は私たち一人ひとりの心のあり方にあり、行動にかかっていることを肝に銘ずるべきである。

あらためて、「うつらない」「うつさない」ために、つぎのことを守りましょう。

1．マスクの着用

マスクの着用により、感染者と接する人のウイルスの吸入量が減少する（感染者が着用した場合は60～80％減少し、感染者と接する人が着用した場合は20～40％減少）

2．うがい・手洗いの励行

外出から帰ったらうがいをする。手指のアルコール消毒、または石鹸で手を洗う。

3．3密（密閉、密集、密接）を避ける

飛沫感染を防止するために、①換気をする。（室温18℃以上に保ちながら）②加湿をする。（湿度40～60％が適当）

4．不要・不急の外出は控える

5．飲酒を伴う懇親会や大人数（5人以上）での飲食は控える。

以上の点に心がけ、感染予防・感染拡大阻止に努めましょう。

細浦湾口の防潮堤工事

岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター漁港管理課の担当者によると。

1　湾口の水門工事

令和2年12月中に完成予定。

気象庁は地震により津波の襲来が予想される場合は、緊急地震速報と同じく全国瞬時警報システム（J-ALERT）により人口衛星を経由し、電波により海底の扉のフックを外し、扉を海面まで浮上させる。その後、その扉が押し寄せる津波の力で立ち上がり津波の浸入を防ぐ、という仕組みになっている。

2　水門から陸地につながる海上の防潮堤

令和3年完成予定

（現在作業工程調整中）

3　陸上の峰岸地区の防潮堤工事

（松島脇の郡漁連細浦給油所のところから大浜重根定置網格納庫向いの旧サンジャックレストランのところまでの陸閘を付けた防潮堤工事）

（1）コンクリートの防潮堤工事は令和3年2月まで。

（2）陸閘の扉の機械設備工事は令和3年3月まで。

右記のコンクリート工事終了後、扉の機械設備工事に取り掛かる。

この間、片側通行並びに一時通行止めにすることもある。

津波襲来に対する陸閘の門扉の閉鎖は、湾口の水門と同じく、気象庁の全国瞬時警報システム（J-ALERT）によって行われる。

★「ミニ門松づくり」

手づくりだからコンパクトで立派

日時　12月13日(日)10時受付開始
作業タイム10時15分～12時

場所　ふるさとセンター
2階会議室

主催　末崎地区公民館
☎29-2955

主管　どこ竹@武蔵野三鷹
末崎グループ代表　村上正吉

材料準備数　今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の関係から30個限定といたします。なくなり次第終了とさせて頂きますので早めにおいでください。

参加料　材料代として1個300円（1世帯2個まで）